



POCO a POCO

ポコ・ア・ポコ

基本理念

安心できる、心暖まる医療

1. 私たちは誠実で親切な心をもって医療に従事します
2. 私たちは人権を尊重した良質な医療を提供します
3. 私たちは地域精神医療と地域ケアを実践していきます

POCO a POCO (ポコ・ア・ポコ) とは…

ポコ・ア・ポコとは少しずつという意味があり、何事も少しずつ、徐々に良くなっていければなどの思いを込めてみました。

発行人：塚崎 稔

発行所：長崎県長崎市布巻町165-1

TEL 095-898-7511・FAX 095-898-7588

<http://www.sanwa.or.jp>



精神科看護の質の向上を……………

日本精神科看護学会が6月21日・22日・23日、長崎ブリックホール・長崎新聞文化ホールアストピアで開催されました。

日本精神科看護学会の会員ら約1500人が3日間教育セミナーや行政報告、管理者セミナー、特別企画、支部企画、現場からの実践報告などに参加し技術の向上をめざして、活発な意見交換などもありお互いが共有し自己研鑽する機会でした。21日はジャパネットたかた創業者の高田様に特別講演をいただき、会長の末安民生氏と副会長の吉川隆博氏の基調講演がありました。末安氏は身体拘束に頼らない患者の安全、地域包括ケアシステムや災害医療での専門的役割などの課題を説明され、吉川氏は「実践の歴史を振り返り、その実践の積み重ねが精神科看護の専門性を高めていく。さまざまな環境でできることを創造することが発展に繋がる」と述べておりました。三和中央病院より4事例を発表された方、運営委員6名の方、お疲れ様でした。

厚生労働大臣より表彰されました

平成31年3月18日三笠山信子貴殿下にお成りいただきパレスホテル東京にて公益社団法人日本精神科病院協会創立70周年記念式典が開催されました。

式典では公益社団法人日本精神科病院協会創立70周年を記念し、多年にわたり精神科保健福祉事業の発展に寄与し、その功績が特に顕著である者に、厚生労働大臣より表彰状が授与されることとなりました。

受賞者は、精神保健福祉事業（社会復帰事業を含む）においてその功績が特に顕著である日本精神科病院協会会員病院の職員（医師・事務長・看護師・PSW等のコメディカル系）永年精神保健福祉活動を支えてきた方を中心に全国から150名（長崎県3名）が選ばれました。当院からは、この栄えある賞を尾上看護部長が授与されました。



[受賞者のコメント]

この度の受賞は大変名誉なことと思っています。これもひとえに理事長はじめ、院長、これまで関係下さりました方々のお陰だと感謝しております。精神科医療の動向において、今後30年間は続くと言われている高齢者問題は認知症患者の増加、長期入院患者の減少、入院期間の短縮による稼動病床数の低下等に伴い地域ごとの特性を活かした治療・看護が求められる時代に入っています。私自身、専門職として自施設の発展と共に精神医療保健福祉の向上に寄与できるように、今後とも力尽くして行ければと思っています。

看護部長 尾上英次郎

長崎県臨床心理士会会長に就任しました

診療部 心理療法室長 森 和弘

今年度より長崎県臨床心理士会の会長を務めることになりました。当会は、平成4（1992）年に発足した県内唯一の臨床心理士の職能団体で、一般社団法人 日本臨床心理士会の団体会員です。県民の心の健康に関する諸事業、会員の相互研修のための研修会の開催などの事業を行っています。臨床心理士は民間資格ながら、心の援助を行うために、養成・認定・研修において高い水準を保つように努力してきました。このような臨床心理士をはじめとした心理職の働きが国民から認められ、平成27（2015）年には公認心理師法が成立し、今春には心理職初の国家資格である公認心理師が誕生しました。当会の会員も多数取得しています。

現在、当会においては、臨床心理士のみを取得した会員、臨床心理士と公認心理師の両方を取得した会員がいます。そして今後は、公認心理師のみを取得する心理職が増えることも予測されます。当会は、引き続き県民の心の健康、心理職の相互研修に資するために、組織のあり方を再考する時期にきています。

先日の総会において、「公認心理師と臨床心理士の両資格取得者を含む組織再編に向けた準備を行う」ことが承認され、そのための作業を進めています。今年度末までには一定の報告を行いたいと存じます。よろしくごお願い申し上げます。



森和弘 × 尾上英次郎
conversation

心理職の果たす役割と看護との連携

今年度より、心理療法室の森和弘室長が長崎県臨床心理士会の会長に就任されました。その一方で、これまで日本精神科看護協会長崎県支部を牽引されていた尾上英次郎看護部長が支部長職を退かれます。そこで今回は、お二人に『心理職の果たす役割と看護との連携』として対談していただきました。本誌ではその一部を抜粋して紹介させていただきます。

【心理職と看護の連携】

尾上 臨床の現場で実体験になりますが…当時私はアルコール依存症の病棟に勤めており、患者様の性格や病態を手探りで対応している状態でした。医師は1日で数名を診察するだけでも手一杯。そうした状況が基になり人間間の摩擦が増えてしまい、その結果、看護やコメディカルも多忙を極めていました。そんな中、心理職の方が患者様と面接をされて、その内容から患者様に合わせた関わり方や対応ポイントをミーティングの中で提供していただき、共有フィードバックすることで患者様とも良い関わり方を築くことが出来、非常に助かったことを良く覚えています。

森 心理職の役割は、患者様の理解をどのようにすればいいか、そして理解をどのように支援につなげるのか。その2つなのかなと思います。

尾上 精神科はいつ治るかいつ落ち着くかも分からない。医学的に言うところと治療ではなく寛解の状態になる。

精神科の看護師は他の科よりも“看る”力が強く求められていると思います。

森 「寛解」なんですよね、「治療」とは違って。どうしてもスパッと出来ない。心理職の関わりは「治す」とは微妙に違うところがあって、その患者様が持っているものをどのように「活かす」か関わっていくところが特徴です。

【臨床心理士と公認心理師】

森 臨床心理士という資格、これは一人ひとりを大事にしようという方向性を持った民間資格です。それとは対照的に今度出来た公認心理師は国家資格です。国家資格ということは国民全体の役に立たなければいけないという側面があります。公認心理師は、「国民の心の健康の保持増進」という、職場のメンタルヘルスとつながるような、広く国民全体に情報・知識を提供することも求められています。今まで心理職が活躍していた領域よりも、もっと広い分野で活躍する必要があります。

【職能団体の勧め】

尾上 自分のスキルを磨くためにも自己啓発として職能団体に入り、病院という小さな組織からもっとマクロ的な世界を見ていくことが大事です。自己啓発には時間や金銭の投資がつきものですが、それは経験となって必ず還元されます。様々な人と出会い、その中で自分の中のモデルとなる人を見つけることが出来ます。また専門職としてだけでなく人間として成長できるし、成長している人を見ることが出来ます。

森 独りよがりでは、絶対患者様や支援を受ける人の役に立たないですね。ですので研修を受けることは大事です。ネットワークが全国に広がります。また、臨床心理士は5年更新の資格です。その間に、必要な研修を受けないと更新できず、臨床心理士でいられなくなります。これが臨床心理士の特徴だと思います。

全文をご覧になりたい方は三和中央病院のホームページをご確認ください

三和中央病院 検索 <http://sanwa.or.jp>

「みのる会結成20周年にあたって」

三和中央病院院長 塚崎 稔

昨年（平成30年 2018年）12月、みのる会が結成されて20年が経ちました。この会が20年間継続したことは大きな意味があります。

平成8年（1996年）4月、当時私が塚崎病院アルコール病棟の主治医になりARPを実施し始めて徐々に増えてきた頃、一人の退院患者さんから、塚崎病院の卒業生の会を作りたいという相談がありました。それがFさんでした。Fさんは当院で内観療法を受け、退院後断酒会に入会し断酒1年目の頃でした。当時Fさんは、断酒会に参加すると周りの会員が西脇病院や道ノ尾病院出身者ばかりで、塚崎病院出身者はだれもおらず断酒例会で肩身の狭い思いをしていたそうです。そこで、Fさんは平成10年（1998年）12月、塚崎病院を退院した他の仲間達に呼びかけて、「みのる会」を立ち上げました。「みのる会」という名前の由来は、これから将来に向かって発展的に成長していく会という気持ちを込めて命名されたのです。毎月第1土曜日に塚崎病院デイケア棟2階でミーティングを行い、時には新年会やお花見、BBQ大会など開き会員同士の親睦を深めていきました。会員の皆さんは、このみのる会に参加しているときはとても生き生きとして断酒だけではなく人生を楽しんでいるようでした。

その後、みのる会会長はFさんから4代交代しながら、みのる会の仲間達はこの20年間、会を継続してくれました。時には会員が2人の時もあり、みのる会がなくなるような危機にも遭遇しましたが、互いに信頼し合える仲間の存在が継続を支えてくれました。

平成30年12月みのる会結成20年目の年に消息不明だったFさんが再び戻ってきてくれたのでした。私の願いは、当院始まって以来のアルコール依存症自助グループ「みのる会」をぜひ将来も継続して欲しいということです。アルコール依存症で苦しんでいる患者さんのために。私たち病院職員は陰ながら応援していますよ。

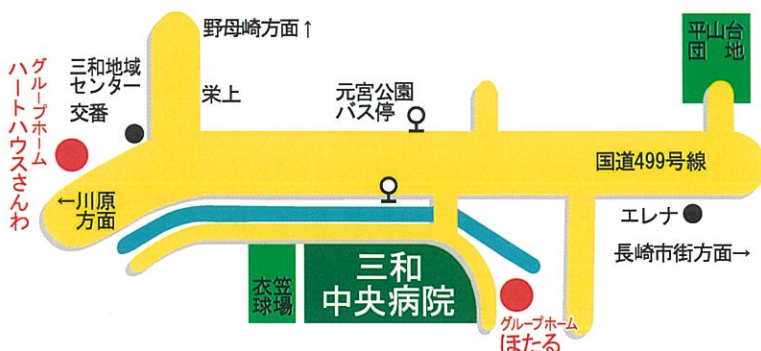


○三和中央病院ホームページでは、新着情報・学会報告・今後の予定などリアルタイムで更新しています。

詳しくはこちらまで→ <http://sanwa.or.jp>

三和中央病院

検索



医療法人 清潮会 三和中央病院
診療科目：精神科・心療内科・内科・歯科
〒851-0494 長崎県長崎市布巻町165-1
TEL 095-898-7511・FAX 095-898-7588
E-mail : info@sanwa.or.jp

医療法人 清潮会 あんしん
訪問看護ステーション
〒851-0494 長崎県長崎市
布巻町165-1
TEL 095-893-8633
FAX 095-893-8677

グループホーム ハートハウスさんわ
〒851-0403 長崎県長崎市布巻町72-1
TEL・FAX 095-892-8780

グループホーム ほたる
長崎県長崎市布巻町624-1
TEL・FAX 095-895-5550

医療法人 清潮会 さんクリニック
診療科目：心療内科・精神科
〒850-0842 長崎県長崎市新地町8-16 ミナトパークビル4階
TEL 095-895-8160・FAX 095-895-8161 <http://www.sanwa.or.jp/sanclinic/index.html>